

■北川千代 児童文学作家。文学少女からヒューマニズム作家に大成した。

きたがわちよ

日清戦争始・1894＝ 埼玉県大寄村(深谷市)の日本煉瓦工場内の社宅で、工場長の長女に生まれる。

物質的に豊かで恵まれた子供時代を過ごし、

ピノキオ・1900＝ 6歳：大寄小学校に入学。

日比谷公園・1903＝ **9歳**：

日露戦争終・1905＝11歳：東京の三輪田高等女学校に入学。この頃から、父が病気で引退し、一家で東京暮らし、夏は軽井沢別荘。

アヲキ・1908＝14歳： **病気のため三輪田高等女学校を中退**、{少女世界}{少女の友}{少女倶楽部}に詩文を投稿し始めると、

大逆事件判決1911＝17歳：***早くも、{女学世界}から原稿依頼をうけ「街はずれの記」で原稿料50円とともに、**

明治天皇没・1912＝**18歳**：

また **沼田笠峰主宰の高嶺会にも属して、文学少女の評判も得、**

21ヶ条要求・1915＝21歳：両親の反対押し切り、社会主義作家江口渥と結婚、

ロシア革命・1917＝23歳：**母が病没、直後に父も死去したため、以後、5人の弟妹の面倒を見ることになり、生活上の必要から少女小説・童話を執筆、**

ベルリン条約・1919＝25歳：***{赤い鳥}に江口千代の名で、「世界同盟」を発表。鈴木三重吉に高く評価され、**

原敬首相暗殺1921＝**27歳**：日本で最初の婦人社会主義団体(赤潤会)に加入。

水平社結成・1922＝28歳：江口渥と離婚し、労働運動家の高野松太郎と東京三河島で同棲。

関東大震災・1923＝29歳：娼婦廃業支援活動を行う。震災に乗じた弾圧で、高野が関西に逃亡。

護憲三派圧勝1924＝30歳：***この頃には児童文学作家として評価が定まった。**

世界恐慌・・・1929＝35歳：「小鳥の家」、

海軍軍縮条約1930＝**36歳**：

満州事変・・・1931＝37歳：少女小説集「絹糸の草履」、童話集「春やいづこ」、

五一五事件・1932＝38歳：高野と正式に結婚。

国際連盟脱退1933＝39歳：童話集「明るい空」、

二二六事件・1936＝42歳：

日中戦争始・1937＝43歳：童話集「父の乗る汽車」、

第二次大戦始1939＝**45歳**：

大政翼賛会・1940＝46歳：千葉県蓮沼の与謝野鉄幹・晶子夫妻所有の汐入池つきの屋敷を買い、東京と往復。

日米開戦・・・1941＝47歳：

創価学会検挙1943＝49歳：夫が狭心症のため、蓮沼の家で死去。

敗戦・・・1945＝51歳：

戦後も、地元のごどもたちから”生簀のおばさん”と呼ばれるなか、

新憲法施行・1947＝53歳：「杏子のロマンス」「山の上の旗」「村のたより」「鳩」、

極東裁判決・1948＝**54歳**：「八本のマッチ」。

朝鮮戦争始・1950＝56歳：可愛がっていた甥を養子とし、

独立回復・・・1951＝57歳：

書き続けて、

なべ底不況・1957＝**63歳**：

美智子妃・・・1959＝65歳：**児童文化功労賞。**

安保闘争・・・1960＝66歳：

東京リビウ 1964＝70歳：蓮沼の加瀬家の娘を養子とするが、

大学紛争始・1965＝71歳：**発病して入院し、まもなく没した。**

社会主義思想に基づくヒューマニスティックな作品も多い。ほかに少女小説集「帰らぬ兄」、童話集「桃色の王女」などがある。児童文学賞に「北川千代賞」(昭和44年)が設けられ、「北川千代児童文学全集」2巻も刊行された。

インターネット「埼玉県」ホームページほか、